

第2章 インストール及び起動

この章では、「Network Utility」のインストール手順及び起動方法について説明します。

2.1.Network Utility のインストール

インストール手順

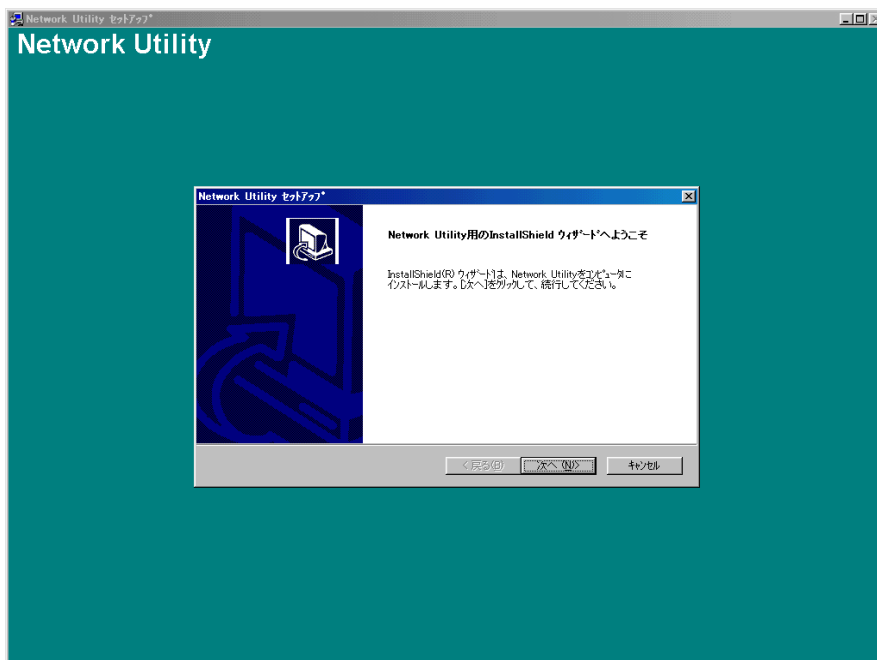
1. LAN カード・オプションに付属の「サポート CD」をドライブに挿入します。
2. 左側のウインドウから「Network Utility」をクリックし “ Network Utility をインストールする ” を実行します。

この時、ご使用のクライアント PC の comctl32.dll のバージョンが古い場合 (Ver4.72 以前) は、「Network Utility」を正常に起動できない恐れがありますので下記のメッセージを表示します。

お手数ですが、IE4.01 以上をインストールした後に、もう一度 SETUP.EXE を起動してください。



SETUP.EXE が正常に起動すると、下記の画面が表示されます。



3. セットアップが起動したら最初の画面で [次へ] ボタンをクリックしてください。
4. インストール方法の選択の画面が表示されますのでネットワーク管理者の方は管理者モード、一般ユーザーの方はユーザーモードを選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。

【注意】一般ユーザーの方が、管理者モードでインストールされると誤ってネットワーク機器の設定を変更されるなどのトラブルが生じる原因となりますので、**インストール作業はネットワーク管理者のご指導の元に実施いただけますようお願いいたします。**

なお、上記が原因のトラブルに関しましては弊社では一切その責任を負うことはできませんのでご了承願います。



5. 管理者モードを選択された場合は、管理者パスワードの設定画面が表示されますので任意のパスワード（半角英数字6文字以上16文字以下）を必ず入力して[次へ]ボタンをクリックしてください。

【注意】 ユーザーモードを選択した場合は、この画面は表示されません。



6. 次に、「Network Utility」をインストールするディレクトリパスを指定してください。
- 【注意】** デフォルトでは “C:\Program Files\LAN カード 対応\Network Utility” になっています。インストール先の指定が終了したら [次へ] ボタンをクリックしてください。
7. 必要なファイルをコピーし、プログラムグループ内にグループの登録を行います。
8. セットアップが正常に完了し、「セットアップの完了」という確認画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックして、ご使用願います。

【注意】 NT4.0 (NTFS フォーマット) においてスタートメニューにグループが追加されない場合があります。スタートメニューに 自動登録が必要な場合のみ 下記の内容を確認下さい。

【手順】

エクスプローラを起動し、下記のフォルダを参照します。

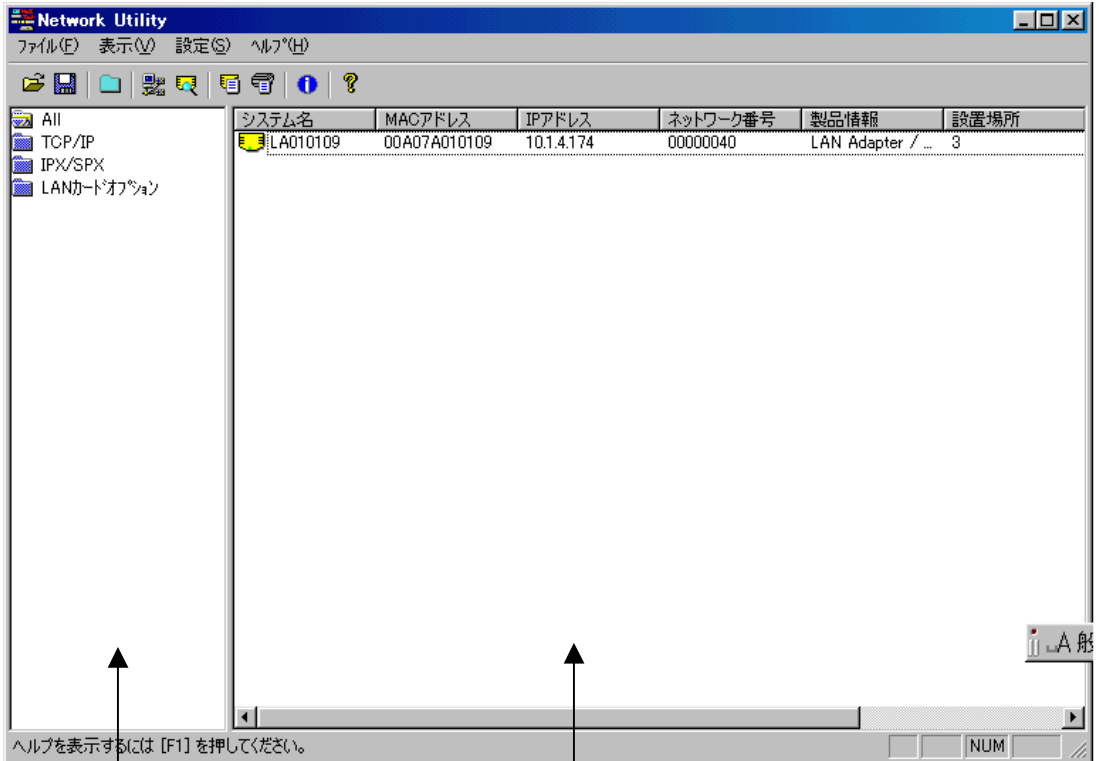
「C:\Winnt\Profiles\All Users\スタートメニュー」フォルダを選択した状態で、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックします。「セキュリティ」タブをクリックし、「アクセス権」ボタンをクリックします。「Everyone」の権限が「フルコントロール」になっていることを確認します。「フルコントロール」になっていない場合は、設定してください。「サブディレクトリのアクセス権を置き換える」をチェックし、[OK]をクリックします。設定が終了したら、[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。アプリケーションのショートカットに対するアクセス権を設定した後に再度インストール作業を行って下さい。

なお、再度「Network Utility」をインストールした後に、「Everyone」の権限を元の設定に戻してください。

2.2.Network Utility の起動とメインウィンドウ

「Network Utility」を起動するには、「スタート」「プログラム」「LANカード・オプション」「Network Utility」を実行してください。

「Network Utility」を起動すると、下記のメインウィンドウが表示されます。



↑
グループリスト
ウィンドウ

↑
デバイスリスト
ウィンドウ

ここでは、「メインウィンドウ」に関する基本的な説明を行います。

「メインウィンドウ」は、グループ管理を行うための「グループリストウィンドウ」と、「デバイスリストウィンドウ」に分かれています。

2.2.1. グループリストウィンドウ

このグループリストウィンドウには、デフォルトグループとして「ALL」「TCP/IP」「IPX/SPX」「LANカード・オプション」の4つのグループが用意されています。

デフォルトグループ

「ALL」: MIB- に対応したネットワーク機器で、TCP/IP 及び IPX/SPX による通信に回答する機器の全てが含まれるグループです。

「TCP/IP」: 「ALL」の中で、TCP/IP による通信に回答する機器の全てが含まれるグループです。

「IPX/SPX」: 「ALL」の中で、IPX/SPX による通信に回答する機器の全てが含まれるグループです。

「LANカード・オプション」: 「ALL」の中で、LANカード・オプションの全てが含まれるグループです。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 1 及び 2」

2.2.1.1. ユーザーグループの追加と削除

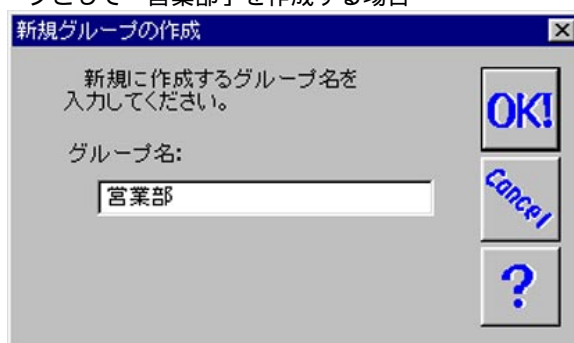
グループウィンドウに表示されるユーザーグループの追加と削除の方法を下記に説明します。

1. ユーザーグループの追加

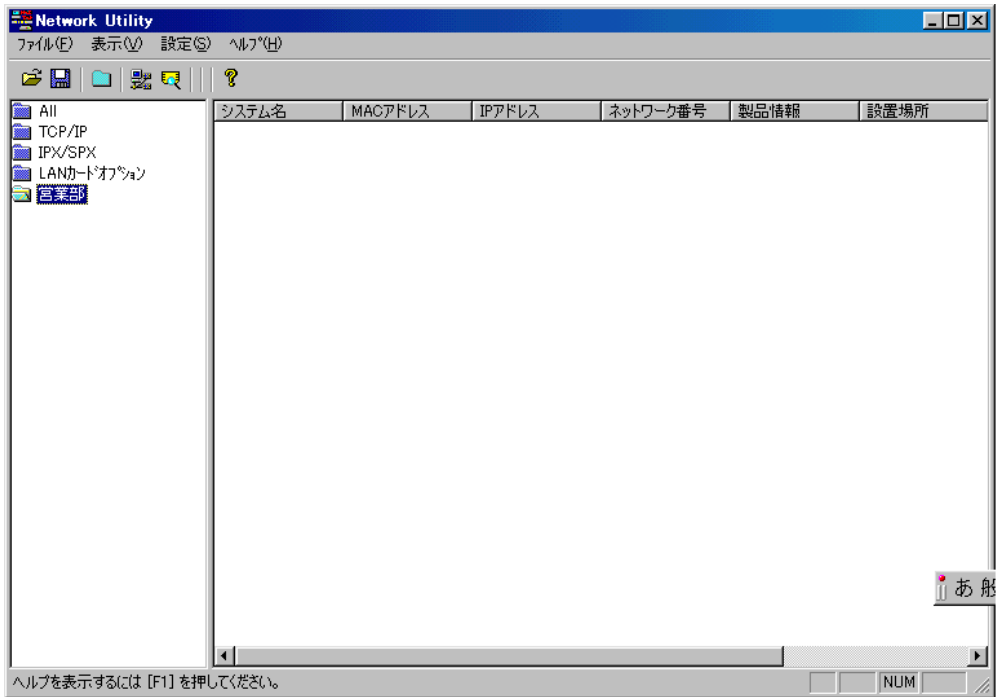
デフォルトグループ以外に、ユーザーがグループを追加することで、管理目的に合わせて自由にグループを構成することができます。

グループの追加は、メニューの「ファイル」から「新規グループの作成」を選択するか、グループリストウィンドウ上で右クリックして、「グループの作成」を選択してください。

【例】新規グループとして「営業部」を作成する場合

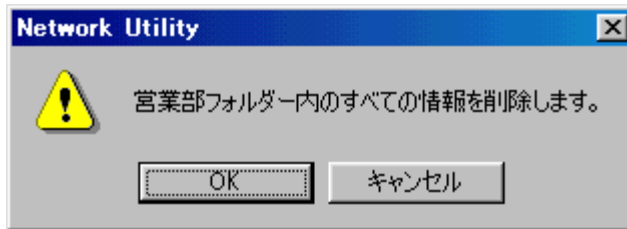


新規グループ作成画面で、「営業部」を入力してOKを押して下さい。
作成されると、次のような画面が表示されます。



2. ユーザーグループの削除

作成したグループを削除したい場合は、削除したいグループを選択して Delete キーを押すか、右クリックでグループの削除を選択することで、削除することが可能です。





【注意】 デフォルトグループは削除することはできません。

2.2.2. デバイスリストウィンドウ

デバイスリストウィンドウはグループリストウィンドウで選択されたグループに属するネットワーク機器の製品名やネットワークアドレスがリスト表示されます。

LAN カード・オプションの場合は、アイコン  で表示され、

LAN カード・オプション以外の場合は、アイコン  で表示されます。

また、通信不能状態（電源が切られた場合など）になると、 や  のように×印で表示されます。

【制限】「1.2. Network Utilityでの制限事項 1及び2」

2.2.2.1. デバイスリストに表示される項目

デバイスリストウィンドウに表示されるデバイスの表示項目は下記の内容になります。

デバイスリストに表示される項目内容

1. システム名

MIB- の sysName の内容を表示します。

2. MAC アドレス

製品の MAC アドレスを表示します。（MIB- の ifPhysAddrss の内容を表示します）

3. IP アドレス

製品に設定されている IP アドレスを表示します。

4. ネットワーク番号

NetWare 環境でご使用になられている場合には、そのデバイスの存在するネットワーク番号が表示されます。

5. 製品情報

MIB- の sysDescr の内容を表示します。

6. 設置場所

MIB- の sysLocation の内容を表示します。

7. 登録グループ名

ユーザーグループに登録されているデバイスの場合は、そのユーザーグループ名が表示されません。デフォルトグループに登録されているデバイスは表示されません。

8. 最終通信日時

リストに表示されているデバイスと最後に通信した日時を表示します。ただし、「Network Utility」を起動後に、「ファイル」「開く」で過去のリストを開いた場合は、現在稼働中のデバイスに関しても過去に最後に通信した時間になりますので、その場合には最新情報に更新を実行すれば最終通信日時は更新されます。

デバイスリストのソート機能

デバイスリストは起動時及び更新時の返答順にリストを作成していますので、デバイスが順不同に表示されます。デバイスをソートしたい場合には、デバイスリストの表示項目（カラム）をクリックすると、昇順（下矢印）/降順（上矢印）にてソートを行えます。ソートは表示項目ごとに行えます。

【注意】最新情報に更新されるとリストを作成するのでソートは解除されます。

デバイスリストのカラム移動

デバイスリストの表示項目（カラム）はドラック&ドロップすることにより移動することができます。

【注意】「Network Utility」を終了し、再起動するとデフォルトの順番にカラムはもどります。

2.2.2.2. Network Utility 起動時のデバイスリスト表示について

デバイスリストウィンドウに表示されるデバイスが、「Network Utility」起動時にどのように表示されるかを下記に説明します。

デバイスリストの表示について

デバイスリストウィンドウに表示されているネットワーク機器は、「Network Utility」を終了するときに自動的にネットワーク機器のリスト情報を、デフォルト設定では、「情報ファイル」として「StartUpFile.kdf」という名前のファイルに保存します。

次回以降に、「Network Utility」を起動する際には、このファイルからネットワーク機器の情報を読み込んで起動します。

また、起動時には、ルータ内に新しく追加された機器なども自動検索で追加されます。

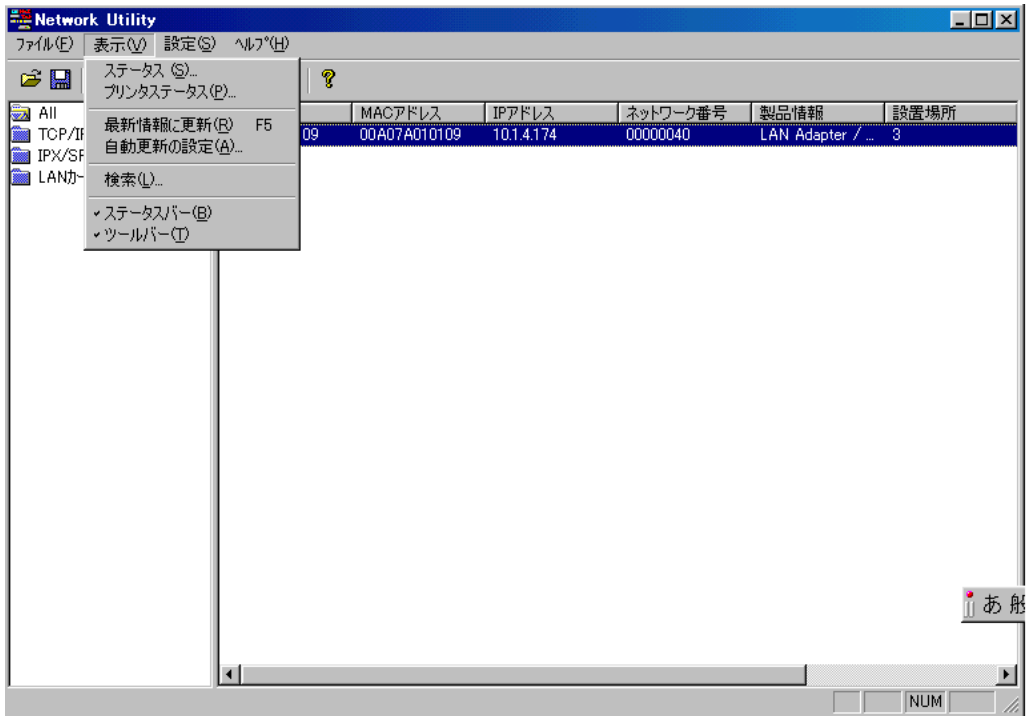
【注意】「Network Utility」を起動時に、情報ファイル「StartUpFile.kdf」に保存されている LAN カード・オプションの情報と、その LAN カード・オプションの現在の IP アドレスが異なる設定がされている場合は、通信不能状態(X 印)で表示されます。これは、「Network Utility」以外の設定ツールにて LAN カード・オプションの IP アドレスを変更された場合に発生しますが、「Network Utility」の仕様として LAN カード・オプションとユニキャストにて通信しているため「Network Utility」の動作がおかしくなったわけではありませんのでご注意ください。

2.2.2.3. デバイスリストの削除

デバイスリストウィンドウに表示されるデバイスを削除する方法を下記に説明します。

デバイスリストの削除について

デバイスリストウィンドウに表示されているネットワーク機器は、「Network Utility」終了時に保存された情報ファイル「StartUpFile.kdf」を基に表示しますので、一次的に接続された機器や長期間稼働していない機器情報に関しては、削除を行わない限りデバイスリストから削除されることはありません。そこで、管理者の方は管理不要と判断したデバイスに関しましては、定期的に削除することをお奨めします。削除する方法は、削除したいデバイスを選択(複数選択時は、CTRL キーや Shift キーが使えます)して、右クリックで「デバイスの削除」を実行するか、Delete キーで削除できます。



【注意】 通信不能状態（X印）の機器が多数存在すると、「表示」「更新」及び自動更新が有効になっている場合には通信タイムアウト時間が機器の数に比例して増加するため自動更新に時間がかかる原因となります。長期間稼働していない機器に関しましては、デバイスリストから削除することをお奨めします。

【参考】 通信不能状態（X印）の機器がルータを越えて存在する場合に、デバイスリストから削除すると、この機器が復旧した場合に検索してリストに追加する作業が発生します。このような場合には、「Network Utility」を終了する前に情報ファイルを別名で保存することをご推奨します。この機器を復旧させたときには「Network Utility」を起動した後に、「ファイル」「開く」を実行して、別名で保存した情報ファイルを開くことによりルータを越えて存在する機器を再検索する必要がありませんので、管理の一貫としてご利用ください。